

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【公開番号】特開 2004-272265 (P2004-272265A)
 【公開日】平成 16 年 9 月 30 日 (2004.9.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-038
 【出願番号】特願 2004-66483 (P2004-66483)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 B 6/44

H 0 1 B 11/00

【F I】

G 0 2 B 6/44 3 3 6

G 0 2 B 6/44 3 0 1 A

G 0 2 B 6/44 3 0 1 B

G 0 2 B 6/44 3 8 1

G 0 2 B 6/44 3 9 1

H 0 1 B 11/00 L

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 7 月 23 日 (2004.7.23)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

保護シースに囲まれたコアで構成される光ファイバ・ケーブルであって、
 コアは少なくとも 1 本の光ファイバを含み、そして、

保護シースは少なくとも第 1 の被覆層部分と第 2 の被覆層部分とを含み、第 1 および第 2 被覆層部分は同一の被覆材料で構成され、第 1 の被覆層部分の該同一被覆材料には調節剤が添加され、第 2 の被覆層部分の該同一被覆材料にも調節剤が添加され、第 1 被覆層部分への調節剤の添加および第 2 被覆層部分への調節剤の添加が被覆の弾性係数をコアの中心から半径にそって外側に向かう半径方向に変化させることを特徴とする光ファイバ・ケーブル。

【請求項 2】

第 1 被覆層部分に添加される調節剤は第 2 被覆層部分に添加される調節剤と同一であり、そして、第 1 被覆層部分に添加される調節剤の量が第 2 被覆層部分に添加される調節剤の量と異なることを特徴とする請求項 1 に記載の光ファイバ・ケーブル。

【請求項 3】

第 1 の調節剤は、充填剤、架橋剤、重合鎖変更剤、光重合開始剤、および、これらの任意の組合せのうちの 1 つであり、そして、第 2 の調節剤は、充填剤、架橋剤、重合鎖変更剤、光重合開始剤、および、これらの任意の組合せのうちの 1 つであることを特徴とする請求項 2 に記載の光ファイバ・ケーブル。

【請求項 4】

第 1 被覆層部分に添加される調節剤は第 2 被覆層部分に添加される調節剤と異なることを特徴とする請求項 1 に記載の光ファイバ・ケーブル。

【請求項 5】

被覆の弾性係数が半径方向に徐々に変化することを特徴とする請求項 1 に記載の光フ

イバ・ケーブル。

【請求項 6】

保護シースに囲まれたコアで構成される光ファイバ・ケーブルを製造する方法であって、該方法は、

一本以上の長さ方向に延びている光ファイバでコアを形成するステップと、

該コアに被覆を施すことにより保護シースを形成するステップとを含み、被覆は少なくとも第 1 被覆層部分と第 2 被覆層部分で構成され、第 1 および第 2 被覆層部分は同一の被覆材料で構成され、第 1 被覆層部分の該同一被覆材料には調節剤が添加され、第 2 被覆層部分の該同一被覆材料にも調節剤が添加され、第 1 被覆層部分への調節剤の添加および第 2 被覆層部分への調節剤の添加が被覆の弾性係数をコアの中心から半径にそって外側に向かう半径方向に変化させることを特徴とする光ファイバ・ケーブル製造方法。

【請求項 7】

第 1 被覆層部分に添加される調節剤は第 2 被覆層部分に添加される調節剤と同一であり、そして、第 1 被覆層部分に添加される調節剤の量は第 2 被覆層部分に添加される調節剤の量と異なることを特徴とする請求項 6 に記載の光ファイバ・ケーブル製造方法。

【請求項 8】

第 1 の調節剤は、充填剤、架橋剤、重合鎖変更剤、光重合開始剤、および、これらの任意の組合せのうちの 1 つであり、そして、第 2 の調節剤は、充填剤、架橋剤、重合鎖変更剤、光重合開始剤、および、これらの任意の組合せのうちの 1 つであることを特徴とする請求項 6 に記載の光ファイバ・ケーブル製造方法。

【請求項 9】

第 1 被覆層部分に添加される調節剤は第 2 被覆層部分に添加される調節剤と異なることを特徴とする請求項 6 に記載の光ファイバ・ケーブル製造方法。

【請求項 10】

被覆の弾性係数が半径方向に徐々に変化することを特徴とする請求項 6 に記載の光ファイバ・ケーブル製造方法。